

山口

山口商工会議所は9月27日、「山口商工会議所ふるさとアンバサダー」



認定証を受け取った阿比留氏（左）と河野会頭

PRアンバサダー認定

の初めての認定式を行った。同制度は、山口市をこよなく愛し、山口県外に転居後も同所および同市の情報発信を行うことができる人を認定する制度だ。

その第1号認定者は阿比留真二氏。近畿日本ツーリスト中国四国の元山口支店長で、この10月から東京へ異動となった。認定式では、同所の河野康志会頭から阿比留氏に認定証と「アンバサダーピンバッジ」が交付された。同ピンバッジは、同市の伝統工芸である大内塗で作られたもの。また、アンバサダーに認定されると、同所月報や同市の観光情報など、PRに必要な情報が継続的に提供される。

県外で情報発信担う



認定者に贈呈される大内塗のピンバッジ

ている。さらに、同所のまち応援委員会の委員長にも就任していた経歴があり、「やまぐち歴史・文化・自然検定」や「明治維新150年記念事業」など、さまざまな事業の支援を行った。同市について知